

# 気候変動関連データのアセンブリチェーンにおける課題と今後の対応

	気候予測・観測データ 	事業関連データ 	経済影響予測データ 	経営活用・データ 
具体例「保有先」	<p><u>過去の地球観測、気候予測、自然災害、浸水想定</u></p> <p>[気候予測データセット2022 (DIAS)、A-PLAT、洪水ハザードマップ、気候変動影響評価報告書]</p>	<p><u>農作物生産量・漁獲量、原産地、工場・倉庫・作業現場の立地、輸送経路</u></p> <p>[気候変動影響評価報告書、気候変動影響予測・適応評価の総合的研究、業界団体、個社内、企業開示]</p>	<p><u>農作物生産量・漁獲量の変化による売上の増減、水害による設備被害額・営業停止被害額</u></p> <p>[個社内、企業開示 (TCFD等)、業界団体]</p>	<p><u>設備投資計画、新技術の研究開発・導入、防災投資、適用策の導入効果</u></p> <p>[企業開示 (TCFD、経営方針等)、適応策事例 (A-PLAT) ]</p>
課題と今後の対応	<p>データの留意点、概要文、補足情報等について、<u>利用者ニーズを踏まえデータ一覧を充実化</u></p> <p><u>データ・利用方法に関して分野ごとに議論を実施</u></p>	<p>気候予測データ等と組み合わせて<u>有効な分析ができるデータの有無、所在、またその分析方法について具体化が必要</u></p> <p>産地や取引先・物流など、分析の<u>前提となるデータの整備</u></p> <p>データを組み合わせた<u>具体例の共有</u>や、特定の地域・産業に関連する<u>企業・業界団体との対話、課題の把握</u>など</p>	<p><u>分析結果の解釈、広範な部署の巻き込み</u>には相応のリソースが伴い有用性への理解が必要</p> <p><u>適応・リスク低減・機会創出の実例の共有・浸透</u>が必要</p>	

## 今後の対話の在り方について

### 気候変動関連データの活用と適応に関する実践パネル

企業・金融機関および関係省庁等が、気候変動に係る適応、リスク低減、機会創出等に向け、気候変動関連データを的確・有効に活用することができるよう、パネル形式でデータ活用を含む関係者の取組事例や課題感等を共有しつつ、協働の可能性等を実践的に議論する。

### 気候変動リスク産官学ネットワーク

施策の進捗状況を定期的にストックテイクしつつ、これを基に幅広い関係者を交えたシンポジウムを通して情報共有・議論を行う。